

# 平和新聞

発行 日本平和委員会  
〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

大阪版編集 大阪平和委員会  
〒543-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル210号  
電話 06(6765)2840 FAX 06(6765)2837  
E-mail:osk-heiwa@able.ocn.ne.jp http://www.osk-heiwa.org

7年連続

## 元気いっばいの定期総会

組織的前進

大阪平和委員会は、5月18日大阪市内で第63回定期総会を68人の出席で開催しました。近藤正理事長が開会挨拶で述べたように会員・紙誌読者数が7年連続で前進する中で迎えただけに、活気のある総会となりました。

最初にたつみコタロー参議院議員が次のように挨拶―丸山穂高議員（維新の会除名）が、「北方領土『奪還』は戦争しないとどうしようもない」などと暴言を吐いたが、憲法を順守すべき国会議員として許されない暴言であり、ただちに辞職するべきだ。



2019/5/18

夏の参議院選挙ではこんな改憲勢力に負けるわけにいかない。大阪で護憲の2議席を必ず取りたい。

次に東大阪で初当選した内海公仁府議（大阪平和委員会常任理事）と奈良県平和委員会水谷祐一事務局長も力強い連帯挨拶をしました。

続いて、西晃弁護士による恒例の憲法講演。西弁護士は、「ファシズムの14の初期警報」（ワシントンにある「ホロコースト記念館」に展示されているアメリカ人政治学者のローレンス・ブリットによる言葉）を紹介し、安倍政権の本

質を見事に表していると警告を發し、市民と護憲勢力が大同団結して2020年安倍改憲を何としても阻止しようと述べました。

1. 強大で執拗な国家主義の宣伝
2. 人権の重要性の蔑視
3. 団結のための敵／スケープゴートづくり
4. 軍隊の優位性／熱烈な軍国主義
5. 性差別の蔓延
6. マスメディアの統制
7. 国家の治安への執着
8. 宗教と支配層エリートの癒着
9. 企業権力の保護
10. 労働者の力の抑圧もしくは排除
11. 知性と芸術の軽視と抑圧
12. 犯罪取り締まりと刑罰への執着
13. 縁故主義と汚職の蔓延
14. 不正選挙―

そして昨年「おおさか総がかり集会」で司会を担当した青年学生協の岩本悟さんと4月の大阪市会議員選挙（東住吉区）で日本共産党候補として奮闘した青年学生部の山本のり子さんが議事の進行を務めました。

討論には17人（うち女性5人、青年4人）が参加。

以下に主な発言者とその発言の骨子を紹介します。

岩田幸雄・大阪原水協顧問―核兵器禁止条約批准に向け意見

書を採択した自治体は6、「ヒバクシャ国際署名」に賛同した自治体首長は16/44。さらに採択自治体と賛同首長を広げ、被爆者の高齢化の中、2、3世の会も創設してゆきたい。

堺の片山直規常任理事―堺メーデーで平和委員会として挨拶、今秋紀伊田辺へ戦跡めぐりバスツアーを予定。

三宅直美さん―「8・6平和のつどい」に保育園の保護者からクレームが出ているが、タイトルなど工夫して継続していきたい。入会申込書と「西淀川平和便り」は必携。月例「戦争あかんドラムデモ」は45回になった。

岩本悟青年協議長―毎月定例会を実施。立命館大学「国際ミュージアム」にみんなで行った。「楽しく」をモットーに活動していきたい。

八尾の奥村正憲事務局長―定番も決め、常設の「平和のための戦争資料館」を市役所前通りのカピタ2階に6月中旬よりオープンする。

同じく小林徳子顧問―私の「卒寿を祝う会」の成功に大阪平和委員会が大きな力を発揮してくれた。記念パンフを活用して平和学習を進め、そのなかで仲間も増やそうと思っている。

最後に4月の大阪市議選で奮闘した西田さえ子、山本のり子、近田やすゆき候補が選挙支援のお礼と今後の抱負を述べました。この討論のあと、2018年度活動総括・収支と19年度活

動方針・予算案および左記の役員案（敬称略）が全員の拍手で承認されました。

◇会長（1名）西晃  
◇副会長（3名）岩田幸雄、片方真佐子、寺戸月美

◇副理事長（3名）鈴木久、玉置敏次、中村玉枝  
◇事務局次長（1名）上羽治雄  
◇事務局次長（2名）吉田一江、

（新）亀井明子  
◇常任理事（28人）西田さえ子、寺田俊一（新任のみ紹介）

○左記の退任の常任理事・理事の皆さんご苦労さまでした。  
浅田健司、大江、大江憲夫、奥村正憲、郷原美保子、斉藤孝義、山口儀一、渡辺真司、北山良三、山内譲二

### 《6月の行事予定》

- 1日（土）日本平和委員会全国大会 13:30～（2日～15:00）  
@多摩永山情報教育センター
- 5日（水）常任理事会 18:00 運営委員会 17:00
- 9日（日）若者憲法集会 10:00 都内各会場 13:30  
メイン集会 15:30 デモ  
堺市長選投票日
- 22（土）「軍学共同いらない！市民と科学のつどいIV」  
13:30 関西大学構内  
吉田栄司教授の憲法講演など

# 「若者百人憲法アンケート」実施

大阪平和委員会青年学生部・青年協議会は、憲法記念日の5月3日午前、阿倍野区内で19人の参加者で112人の若者を対象に「憲法アンケート」を実施。結果は左記の通りです。

「若本悟青年協議長のコメント」

「昨年比し、「憲法は変えるべきでない」が増加する一方、「9条2項は変えるべき」が減少。「投票に行くか？」という初めての質問に対し72%以上が「行く」と答えてくれた。また「平和のためにできることがあったらやりたい」は90%以上となった。今回で6回目。メディアの関心も高く「朝日新聞」、「毎日新聞」(5月4日朝

岩本さんたちは、この結果を6月9日東京「若者憲法集会」で報告する予定です。



## 若者憲法アンケート 2019年5月3日

アンケート回収数112 男性25人 女性87人 平均年齢17.05才 10代96人、20代12人、30代4人 12才~34才まで 阿部野橋歩道橋周辺 参加者数: 19名

◆5月3日は何の日?	2019年大阪		5月3日9:30~11:10	
正答	23	20.54%		
誤答・無回答	89	79.46%		
	112			

◆9条2項は変えるべきか?	2019年大阪			
1. 変えるべき	4	3.57%	18	16.07%
2. どちらかといえば変えるべき	14	12.50%		
3. どちらかといえば変えるべきでない	12	10.71%	61	54.46%
4. 変えるべきでない	49	43.75%		
5. わからない	32	28.57%	32	28.57%
無回答	1	0.89%	1	0.89%
	112			

あなたは投票に行きますか? (18歳未満の方は選挙権を得た場合)	2019年大阪			
18未満で行くと回答	55	49.11%	81	72.32%
18以上で行くと回答	26	23.21%		
18未満で行かないと回答	18	16.07%	29	25.89%
18以上で行かないと回答	11	9.82%		
無回答	2	1.79%	2	1.79%
	112			

※外国籍2名含む

平和のためにできることがあったらやりたいか	2019年大阪			
1. 積極的にやりたい	35	32.41%	100	92.59%
2. 少しくらいならやりたい	65	60.19%		
3. あまりやりたくない	4	3.70%	8	7.41%
4. やりたくない	4	3.70%		
	108			

# ミュージカル「はだしのゲン」に感動

春爛漫の4月13日、大阪平和委員会第5回平和バスツアー「はだしのゲンと焼き場」についに立つ少年に出会う旅が27人の参加で成功しました。

最初に、大阪カテドラル聖マリア大聖堂(カトリック玉造教会)を訪

問。大聖堂内の小教会で上田憲神父から、パンフレット「大阪カテドラル物語」とフランシスコ教皇が2018年1月に原爆投下後の長崎で撮影された「焼き場に立つ少年」の写真をカードに印刷したもの(裏に教皇フランシスコの署名あり)が全員に手渡されました。その後、一般の人は立ちいることのできない聖堂正面に移動、聖母子を中央に高山右近と細川ガラシャを左右に配した大壁画の真下で「ここからでない」とガラシャの首にかけているロザリオは見えない」「ステンド・グラスは聖母の生涯の主な場面をデザインしたものだ」などの説明を受けました。



の特別の配慮で皆で有馬さんと記念写真を撮りました。

次は、「はだしのゲン」によせられた感想「お父さん、お母さん、子どもたちのそれぞれの役柄がリアルに伝わってきた。俳優の調子、身体のしなやかさから悲しみ、喜び、強さ、やさしさが伝わり、改めて劇のすばらしさに触れた思いがする」

## 小林徳子さんの卒寿会

盛大に!!

「小林徳子さんの卒寿を祝う会」が4月28日天王寺区内で88人の出席で開かれました。

最初に「祝う会」実行委員長の浜正幸さんより「小林さんが日中両国で反戦平和を貫いてきた90年の人生を祝うためにこの会を開いた」との開会挨拶。

次に内海公仁・日本共産党府会議員、中原美江・新日本婦人の会大阪府本部副会長、辰巳孝太郎・日本共



産党参議院議員より祝辞が述べられ、辰巳議員はこの後も最後まで残って出席者と交流・歓談しました。次に「太極梅花扇」やクラリネットとピアノのデュオ演奏でくつろいだ後、寺戸月美大阪市議や塩田清人東大阪市議などから小林さんにお祝いの言葉が寄せられました。続いて北野雅博・大阪平和委員会常任理事が、この日に合わせてつくられた好評のパンフ「平和と政治革新を求めて」小林徳子さんの卒寿を祝って(28頁)をもとに、日中両国で撮られた貴重な写真を用いて小林さんの90年間の反戦平和に尽くしてきた人生を振り返りました。最後に小林徳子さんからこの会開催への実行委員会と出席者の皆さんへの感謝の言葉が述べられた後、小林さんの後を継いで大阪平和委員会会長を務めてきた西晃会長が、閉会の挨拶として「今後も元気な姿で後進を激励し続けてほしい」と述べ、会の閉会となりました。